

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 26 年 10 月 7 日 (火)
地区 今一色小学校区
会場 今一色小学校 1 階家庭科室
参加者数 29 人



《質問・意見》

まちづくり協議会は何を行うのか。住民自治についての諮問機関という位置付けなのか。避難施設の整備が必要であるなどの場合、まちづくり協議会を通じて行政にお願いする、ということができるのか。

《回答》【市長】

地方分権という名のもとで国から地方にお金を渡して地域で仕事をやってもらうという構造がありましたが、それとまちづくり協議会とは別なので、諮問機関のような位置付けで、避難施設についても、提言や要望をいただければと思います。

《質問・意見》

避難タワーの代替施設として、耐震診断で大丈夫であれば鉄筋 2 階建ての自宅に避難階段を設置するなど、活用できないか。

《回答》【市長】

津波の耐圧診断の必要もありますが、避難施設について要望があれば、協議会や自治会でまとめて上げてもらいたいと思います。

《質問・意見》

今一色小学校の緊急避難場所として自家発電、停電施設の設置状況を確認したい。

《回答》【市長】

後日確認します。

<後日回答>【担当部局 危機管理部危機管理課】

今一色小学校では約 850 ボルトアンペアの発電機を 3 台設置しています。

《質問・意見》

今一色小学校の外付階段はすぐに分かる場所にあると良いが、裏手にあって見えない位置にある。また、車椅子では利用できない。命山はほしい。

《回答》【市長】

担当部署に現場確認させます。

<後日回答>【担当部局 教育委員会事務局教育総務課】

外付け階段の位置につきましては、敷地、建築物の関係により現在の場所に設置をいたしました。また、校門付近など3か所に外付け階段の位置や避難経路を示した看板を設置しております。

外付け階段は、学校校舎へ取付を行うため、限られたスペース内での設置となりますことから、わかりにくい場所となってしまうご迷惑をおかけしますが、地域での防災訓練等を通じて設置場所の確認をしていただき、いざという時のために備えていただくようお願いいたします。

次に、車椅子の利用については、スロープの設置が考えられますが、学校屋上までスロープを設置するとなると、相当程度の距離を要する構造物となるため設置は難しい状況です。このことから、車椅子を利用される方の学校屋上への避難は、地域の皆様のご協力をお願いしています。搬送方法につきましては、訓練や講習等に職員を派遣いたしますので、ご確認をいただくようお願いいたします。また、階段を利用して避難できる搬送器具を順次配備をしたいと考えています。

《質問・意見》

毎年7月に総普請、全体で出合い清掃活動を行っている。雨水を流す側溝の板がコンクリートのため重く、高齢では対処が難しい。市で方法を考えてもらえないか。

《回答》【市長】

伊勢全体に及ぶ場合、対応は難しいと考えます。シルバー人材センターに発注しているところもありますが、持ち帰って検討します。

<後日回答>【担当部局 都市整備部維持課】

市内全域における側溝清掃につきましては、各自治会で行っていただいておりますが、蓋が重い、水路幅が広い、また、高齢等の住民で清掃を行うなど、止むを得ない事情によって、市で清掃を行っているところもあります。今後、状況に応じ、市にご相談をお願いします。

《質問・意見》

ふるさと未来づくりと市との関係が分かりにくい。市のコントロール下に置かれるのか。自治会との関係はどうなるのか。

《回答》【市長】

市のコントロール下に置かれるのではなく、住民主権での活動となります。ふるさと未来づくりのきっかけは行政にあり、公金を使用する以上は、お金の使い方は明確にしたいと考えます。自主的な団体として自主的な活動をお願いします。

《質問・意見》

発足した後は自主運営で良いのか。

《回答》【市長】

自主運営で良いと考えます。

《質問・意見》

自宅の北側の排水が台風で膝位まで水が増水し、川になる。排水ポンプは1個あるが2個にできないか。石積み等古くなって放置されている。区からも要望を出しており、直してほしい。プレハブ水路のため柵板の間から土を吸い出しているため自宅の一部が陥没している。このまま放置すると家が傾いてくるのではないかと不安である。

《回答》【市長】

帰りに現場を見に行きます。

<後日回答>

【担当部局 上下水道部下水道建設課、都市整備部基盤整備課、産業観光部農林水産課】

コンクリート叩きの亀裂・沈下、排水路の柵板裏の空洞について、今後現場の調査を行い、対応策の検討を行います。排水路改良及び排水ポンプの増設については、湛水防除対策として設置された施設であり、その目的としての機能は果たしているものと考えます。

《質問・意見》

防風林の松くい虫防除の方法について、今一色側では松枯れが激しい。茶屋側と違うのではないか。

《回答》【二見総合支所長】

今一色側では地上散布、茶屋側では樹幹注入の方法により行っています。

《質問・意見》

小学校の統合後、まちづくり協議会は独自でやっていけるのか。

《回答》【市長】

統合後も独自で活動可能です。

《質問・意見》

小学校の統合後、旧小学校区での懇談会の実施は無くなるのか。

《回答》【市長】

これまで小学校区での実施としていますが、地域から要請をいただければ、旧小学校区で来ることはできます。

《質問・意見》

保育園の将来はどうなるのか。

《回答》【市長】

全て高台に持っていきたいとは考えています。

《質問・意見》

学校の問題として、保育園、小学校、中学校の移転については、ばらばらに行うのではなく、一つの構想を持ってやっていただきたい。

《回答》【市長】

総合的な施設になるのが好ましいと考えます。合併特例債は平成 32 年が期限であり、地元配慮しながら行っていきますので、応援をもらえればと思います。

《質問・意見》

他所も見て回る中で、地域によっていろいろな考え方があある。伊勢は遷宮があり変わった。おもてなしの心で伊勢だけではなく名古屋圏の方向に呼び込むことはどうか。

まちづくりではおもいやりの心を持って、ソフト事業は地域、ハード事業は市、全体を取りまとめるのがまちづくりの会として、お互いにキャッチボールできるといいのではないかな。

《回答》【市長】

観光面で「伊勢」の名前は国内に通っていますが、国外では知られていません。全国的

に展開する昇龍道プロジェクトに参加して、地域の資源を活かしつつ、地域を守って行きたいと考えます。

《意見》

二見町内の農免道路は幅4 mであるが、7 mの用地が確保されているので拡幅してもらいたい。